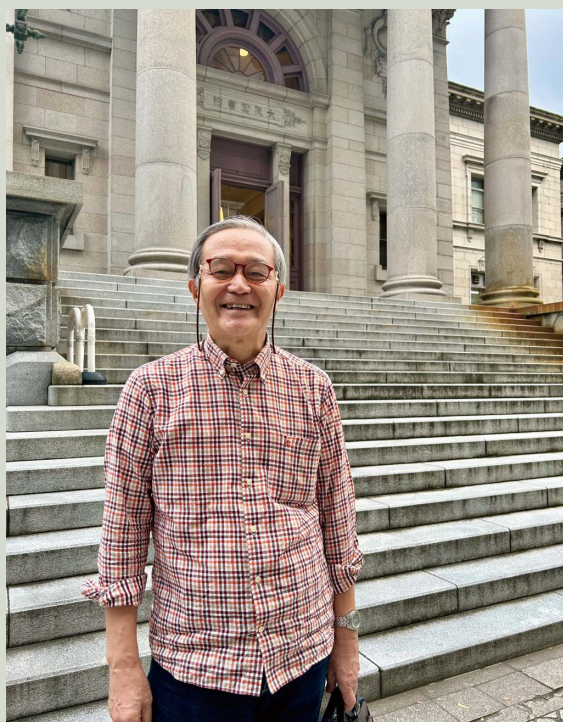


「たのしい老後」はあるか



めざせ! 上機嫌セブンティーズ
ナカノシマ大学2025年12月講座

淀屋橋サラリーマンに



左／会場の大阪府立中之島図書館前で楠木さん。暗い話ではないことはこのお顔で想像がつくかと
右／当日は会場で、楠木さんの新刊『定年後、その後』（プレジデント社／税込1,430円）を販売します。

12/18(木) 18:00~19:40

会場 **大阪府立中之島図書館** (3階多目的スペース)

受講料 **2,500円** (小学生以下1,500円) 定員 **60名**

講師 **楠木 新** (文筆家・ビジネス評論家・『定年後』著者)

主催 大阪府立中之島図書館 (指定管理者ShoPro・長谷工・TRC共同事業体)

企画協力 ナカノシマ大学事務局 (株式会社140B)

現役世代の人たちも、「仕事を降りてからの人生の方が長い」。ぜひ自分事として

神戸の新開地で「おもしろおっちゃん」に囲まれて育った楠木さんは、建前を言う会社員に違和感を抱きつつ就職。40代後半でサラリーマン人生に行き詰まりを感じて休職し、復帰後は文筆家との「二足のわらじ(楠木さん曰く〈淀屋橋いくよ・くるよ人生〉)」をスタートさせました。

自身の定年後に発刊された『定年後』(中公新書)がベストセラーとなり、最近は、「70歳からは人間関係寿命を延ばせ」(『週刊文春』8/28号)、「70歳からの生き方のヒント」(NHK「ラジオ深夜便」10/14)などを発信しています。ナカノシマ大学は2023年6月の「シン・淀屋橋人生」以来2回目です。ご期待に違わず話はおもしろく、おなじみ「昭和歌謡」のフレーズが随所で炸裂します!

〈講師からのメッセージ〉

淀屋橋の生命保険会社を定年退職して10年が過ぎました。最近、70代の先輩方を丹念に取材すると、60代までとの違いが見えてきました。

「小さい子どもが無性に可愛い」「配偶者が大事」といった言葉が多く聞かれるようになり、死について語る人も増えてきます。仕事やお金よりも、人間関係こそが生きる支えになっていることを実感しました。当日は、「いい顔」で過ごす大切さ、物事の良い面を見る工夫として「一日ひとつエエことメモ」もご紹介します。

くすのき・あらた 1954年神戸市新開地の近くに生まれ育つ。京都大学卒業後、生命保険会社に入社。人事・労務関係を中心に経営企画・支社長等を経験。50歳から勤務と並行し、執筆や講演に取り組む。2015年に定年を迎え、2018~22年に神戸松蔭女子学院大学(現・神戸松蔭大学)の教授に。著書に25万部超えの『定年後』など多数。最新刊は10月30日に発売された『定年後、その後』。140BのHPに連載中(現在21回)の「【神戸新開地〜福原】シンカイチの人と思い出」はフレンドリーな筆致で楽しく読ませる。ぜひ一読を。https://140b.jp/

→受講申込は、こちらのQRコードからナカノシマ大学のWEBで受付します。

※次回は1月中旬18時予定……タイトル・講師未定

